

令和8年度 大学院連合教職実践研究科入学者選抜（2月選抜）

学校臨床力高度化系 専門科目：記述式総合問題

【解答・解答例】

設問1（配点100点各問20点）

●カリキュラムマネジメント

例：各学校が教育目標の実現に向けて、子どもや地域の実態を踏まえ、教育課程の編成、実施、評価、改善を計画的かつ組織的に進め、教育の質を高めること。社会の変化に対応できる資質や能力の向上を目的としている。

●主体的・対話的で深い学び

例：児童生徒が学ぶことに興味を持ち、他者との対話を通じて考えを深め、知識を関連付けてより深く理解し、問題解決や創造に向かう学習のあり方を指す。生涯学び続けるための資質・能力の育成を目的としている。

●検定教科書

例：文部科学省が民間の出版社が作成した図書を教科書として適切であるか審査し、合格したものを小学校・中学校・高等学校の教科書としている。本制度は教育の質と中立性、全国的な教育水準の維持向上を目的としている。

●ポートフォリオ評価法

例：児童・生徒が自らの学習の成果や過程を体系的に記録・蓄積し、振り返りを生かして学びを深め、自己評価力を伸ばす評価方法である。学習の過程や成果を可視化し、個に応じた具体的な指導を可能にしてくれる。

●職場体験

例：中学校等の教育課程の中の特別活動や総合学習等の枠内で、生徒たちに地域社会の様々な事業所で職業の現場を体験させること。学ぶことや働くことの意義理解、主体的な進路選択決定の態度や意欲を培うことができる。

●育成すべき資質・能力の三つの柱

例：現行学習指導要領において示されている育成すべき資質・能力の三つの柱は、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」である。三本柱で「生きる力」を育くむことを目指している。

●生涯学習

例：生涯学習とは、人が自己の充実・啓発や生活の向上のために生涯にわたって行うあらゆる学習活動を指す。学校教育だけでなく、家庭教育、社会教育、企業内教育、趣味、スポーツ、ボランティア活動等多岐にわたる。

●学び続ける教師

例：社会の急速な変化や児童生徒の多様化、教育課題の増加に対応するため、学校教育を取り巻く環境の変化を受け止め、生涯にわたり自律的、継続的に知識・技能を習得し、自身の教育実践を向上させる教師を指す。

【出題の意図】

設問2（配点100点各問50点）

子ども基本法に基づき、学校は子どもの権利をより尊重した教育活動が求められている。今回の問題では、それを理念に終わらせず、具体的な教育活動として構想できる力を受験生に問うている。

1. 学校臨床力高度化系初任期養成コースで授業、生徒指導、学校経営の三面から教育実践を捉えることを重視している。この問題では、前二者の面から考察することを求めている。具体的には、学級のルールづくりや授業のめあて設定、総合的な学習の時間のテーマ設定などが想定される。普通に意見を聞くだけでは、教室で権力を持っている児童・生徒の意見だけが通ることになってしまうので、そのことに注意を向けもらうために、留意点を書くことを求めている。これは2も同様である。
2. この問題では、学校経営の面から考察することを求めている。具体的には、校則決め、行事の内容決定などを想定している。